



大阪関西万博 オーストリア・パビリオン同時開催 インタラクティブアート 公開上映会 「PIXEL PARAVENT. Time travels in Clouds」

オーストリアの古城の壁をひっそりと飾っていた「豊臣期大坂図屏風」。豊臣秀吉の時代の大坂の栄華を表したこの屏風は、関西大学が研究しその価値を世に知らしめました。

大阪関西万博のオーストリア・パビリオンでは、6月19日と20日の両日、この「豊臣期大坂図屏風」を現代の最新技術で映像化し、インタラクティブアート「PIXEL PARAVENT. Time travels in Clouds」として展示されます。

今回は、オーストリア・パビリオンの展示開催と同時に、それらのアートを制作した映像作家おふたりと屏風を所蔵するヨアネウム博物館キュレーターを招き、お話しを交えながらアート作品を楽しみます。

学生や研究者のみなさまのご参加をお待ちしています。

日時

2025年6月20日 金 11:00~12:00

場所

千里山キャンパス以文館4階セミナースペース
(1階食堂横エレベータで4階へお出でください)

定員

100人（事前申込不要。満員の際はご容赦ください）

アーティスト

スタジオ ASYNCHROME

Marleen Leitner (マルレーン ライトナー) 氏

Michael Schitnig (ミハエル シトニグ) 氏

Martin Baasch (マーティン バアシュ) 氏 (ヨアネウム博物館キュレーター)

※使用言語は英語ですが、適宜教員がフォローします。



《「豊臣期大坂図屏風」とは》

オーストリア第2の都市グラーツ郊外の古城エッゲンベルクの1室に飾られていました。豊臣期全盛時の大坂城と城下を描いた絵画や屏風は現存するものが少なく貴重な存在です。研究の成果として、千里山キャンパス第1学舎1号館2階の壁面に陶板画のレプリカが飾られています。



《インタラクティブアート

「PIXEL PARAVENT. Time travels in Clouds」とは
大阪関西万博のオーストリア・パビリオンの「豊臣期大坂図屏風」展示のためにオーストリアのアーティストMarleen LeitnerとMichael Schitnigによって特別制作され、同パビリオンでは20台のモニターディスプレイにより映し出されます。今回は、万博と同じアートコンテンツ（※）を関西大学で楽しみます。

※モニター数は異なります。